

平成 30 年 2 月 26 日

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院 7 階東病棟に、入院された患者さんへ

和歌山県立医科大学附属病院 7 階東病棟では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

服薬理解評価スケール (RCS) の有用性の検討

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学附属病院 看護師 茨木 涼

3. 研究の目的

服薬理解評価スケール（以下 Regimen comprehension scale : RCS とする）を作成、導入し、RCS の導入前後のインシデント数及び自己管理まで要した日数の変化を用いて、RCS の有用性を明らかにする。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

平成 29 年 4 月 1 日から平成 29 年 6 月 30 日までの期間中に、7 階東病棟に入院された患者さんが対象となります。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、患者さんの基本情報（性別、年齢、疾患名、家族背景、キーパーソン）、インシデント数、自己管理まで要した日数に関する情報です。

(3) 方法

RCS を作成、導入し、RCS の導入前後のインシデント数及び自己管理まで要した日数の変化を用いて、RCS の有用性について検討する。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがあります、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

連絡先：073 - 447 - 2300 (内線 2711)

和歌山県立医科大学 7 階東病棟 茨木 涼